

輸送系ワーキンググループの進め方(案)

開催時期、回数は現在の目安であって、今後の議論の進捗により、柔軟に対応するものとする。

第一回目(10月30日)

- 現状分析と課題
- 衛星需要の見通し
- 世界の輸送系の現状(各国の長期ビジョン、現状)
- 日本の輸送系の現状
- アジェンダセッティング

第二回目(11月中旬)

- わが国の基幹ロケットの確立
- H-Aロケットシリーズの位置づけ
- 新たなロケット打上げ需要への対応
- 基幹ロケットとしての大型輸送システム
- 中型ロケット、小型ロケットのニーズと意義
- 固体ロケットシステム技術維持の意義

第三回目(12月中旬)

- 基盤技術の維持・向上
- 信頼性向上の持続的取組(高信頼性輸送システムへの発展)
- 部品枯渇問題への対応
- その他
- 将来輸送系について
- その他
- WG報告事務局案について

第四回目(1月中旬)

- 取りまとめ